

# つばめ通信

『山中湖中学校だより』 平成26年度  
平成26年8月22日発行 第8号



29日間に及ぶ夏休みが終わり、今日から実りの2学期が始まりました。

2学期は、82日間のロングラン。季節も夏から秋そして冬…と、気候的にも変化に富んだ「動」の学期です。2学期開始早々の学園祭を皮切りに、子どもたちには様々な躍動場面が待ち構えています。忙しい学期になることは間違いありませんが、この2学期をどう過ごすかで、1年間の価値が決まってくると言っても過言ではないでしょう。

そんな思いを子どもたちに伝え、一人一人が様々な場面で躍動する学期にしていきたいと考えています。保護者や地域の皆様には、引き続き、温かいご支援とご協力をお願いいたします。

## 『赤い実がパチンとわれた十四歳』

(お〜いお茶新俳句大賞 中学生受賞作品より)

## 頑張り夏休みの総括

例年のない猛暑続きの今年の夏休み。そんな中でも、子どもたちは、部活動に、勉強に…、ひたむきに汗を流し努力と頑張りを積み上げ、多くの成果や感動を手にすることができました。

そんな夏休み中の子どもたちの頑張りについて、そのごくごく一部を以下に紹介していきたいと思えます。限られた紙面ですので、ここに取り上げることのできない頑張りも、他に数多くあったことをご推測いただきながら、子どもたちの29日間に拍手を贈っていただきたいと思います。



## 女子バスケット部 関東大会



33年ぶりに県総体準優勝を果たした女子バスケットボール部は、8月8日から開催された「関東中学校バスケットボール大会」に山梨県代表として出場しました。

関東大会では、8日の開会式に臨んだ翌日の9日第4試合に山中が登場。東京都第1位の石神井西中学校と対戦しました。試合は、キャプテン長田胡桃さんの3ポイントシュートで先制。山中応援団の大歓声でスタートしましたが、長身選手を擁した相手チームにジワジワと得点差を広げられ、最終的に69-46で敗れ、初戦を飾ることはできませんでした。



試合後は、全部員が号泣。その涙はきっと、試合に敗れた悔しい思いと同時にこれまで毎日毎日頑張ってきた3年間に思いを馳せた感動の涙でもあったらと思います。



子どもたちにとっては、流した涙の分だけ、強さを身につけた関東大会での活躍でした。

## 東大生による『夏季学習会』

恒例の夏休み中の学習会。今年は、延べ6日間にわたって3年生が指導を受けました。中には、皆勤の生徒もいて、そのモチベーションの高さに驚かされました。

受験も何事も最終的には『思いの強さ』がポイントです。暑さと戦い学習会に臨んだ成果が、必ず実るよう祈ります！



## 県総体…陸上競技



8月28日・29日の2日間にわたって、日世南アルプスタジアムを会場に「県中学校総体陸上競技の部」が開催されました。支部大会での大活躍を受けて、山中湖中は14種目12名の県大会出場権を得た県陸上でしたが、女子バスケの県総体と日程が重なってしまい、結果的に8種目7名の県大会出場となりました。

支部代表で臨んだ選手たちは、猛暑の中、自己ベストの更新をめざして全力で競技に臨んでいました。中でも、1年生の佐藤聡太くんは1年男子100mで見事に決勝進出。予選タイムが決勝でも出れば関東大会出場…という大健闘でした。

他の誰でもない、自分と向き合う陸上競技。出場した子どもたちは、確かな手応えをもって自分に自信をもてる機会となったことでしょう。

## NHK合唱コンクール出場

8月6日、東京エレクトロン荻崎文化ホールで開催された「NHK全国学校音楽コンクール山梨県大会」に山中湖中の精鋭32名が出場しました。1学期末からの練習の成果を遺憾なく発揮し、きれいなハーモニーを大ホールに響かせてくれました。残念ながら、上位の賞を受けることはできませんでしたが、大きな緊張感の中で、これから先に生かせる大変貴重な体験となりました。

なお、この大会に向けた子どもたちの練習などの様子は、NHKの取材を受けています。近々に5分間のミニ番組として全国ネットで放映される予定です。ご覧ください。

